

sponsored by
タウンワーク
TOWNWORK

キャンパスライフ プラスワン

学生の夢を応援する「Campus Life+1」 追跡! Dreamerたちの



今年で5回目を迎える学生の夢応援プロジェクトCampus Life+1。
これまでに何万人もの学生が自身の夢について真剣に考えてくれました。
今回は、過去にCampus Life+1に参加したことで、自分の夢がどのようになったのか?
また自分自身どのように成長したのか?を追跡取材してきました。

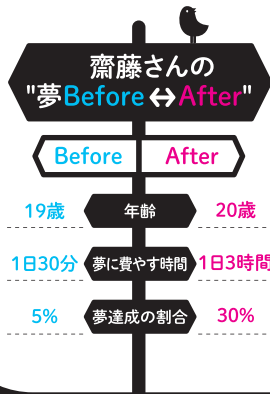


早稲田大学
先進理工学部3年生
齋藤柚里さん | 20歳
宮城県出身。カレーマニア。
昨年のCampus Life+1コンテストでは準グランプリを獲得。
カレーに関する活動に邁進しつつ、現在も家庭教師のアルバイトをしている。

昨年開催されたキャンパスライフ+1コンテストに出場し、私の人生は大きく変わりました。当時の私の夢は「スパイスの力で日本を元気にしたい」という漠然としたものでした。しかし、コンテストに出場したことにより、その思いは明確なものに。「なぜ、自分がカレーやスパイスが好きなのか」「それらをどのように広めて、どういう世の中にしたいのか」といったことを真剣に考え、自分のすべき行動が明確になったのです。
コンテスト出場後にはまずおこなったことは商品化です。「印度カレー子」というブランドを作り、インドカレー作りのためのスパイスセットを考案。その製作を障がい者支援の一環として、宮城県福祉法人に依頼し、製品

1年間で人生が激変! カレーは私の生きがいです

化にこぎつけました。そして、WEBショップを開設し、販売をしています。また、発信力を高めるために各SNSでブランドのアカウントを持ち、情報を発信。現在3000人以上の人たちに、フォロワーしていただけるまでになりました。他にも、毎月インドカレーの料理教室を開催したり、友人のパーティーでケータリングのサービスをするなど、着実に活動の幅を広げています。その甲斐もあり、商品の売れ行きも好調で、新聞や雑誌等でも紹介してもらえるようになりました。
このように私の人生はこの1年で劇的に変化しました。これからは多くの人がスパイスやカレー作りを楽しんでもらえるように魅力を伝え続けたいです。



料理教室中の齋藤さん。
毎月25人以上の人が
受講する人気教室に



After

印度カレー子の
スパイスセット。
1ヶ月で250個
売れることも



Before



昨年のコンテストでは、
堂々とスパイスの
素晴らしさをプレゼン

2017年
開催決定

【応募資格】●現在、大学(院)生、短大生、専門学校生、高校生、高等専門学校生、高等専修学校生の方(20歳未満の方は保護者同意の上ご応募ください) ●日本国内に在住している方。国籍は問いません。 ●団体での応募も歓迎(最終選考出場は1チーム5人までとする) ●2017年12月に東京にて開催予定の最終選考に参加いただける方※詳細は一次選考合格の方へご連絡の際にお知らせいたします。 ●過去に「Campus Life+1」にご応募いただいた方の応募も可能です。

右下のURL、2次元バーコードから
サイトにアクセスし、必要項目をご記入ください。



エンタク 検索 <http://entac.jp/>

応募期間: 2017年4月3日(月)~2017年10月29日(日)

主催: **ENTAC!**
enjoy talking campus

協賛: **TOWNWORK**

お問い合わせ先: 学生コミュニティサロン「エンタク!」
TEL052-241-8100 (受付時間/平日9:00~18:00)

RECRUIT